



Nine Eagles®
[www. NineEagle. com](http://www.NineEagle.com)

Solo Maxx 270



Hitec Multiplex Japan 2011

Copyright © 2011 Hitec Multiplex Japan, Inc. All Rights Reserved.

Ver.1203

ご挨拶

この度は当製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。当製品は安定性の高い二重反転ヘリで基本操縦を習得されたお客様のステップアップに最適なシングルローターヘリコプターです。本格的なR/Cヘリコプターの操縦感覚を気軽に室内で楽しめるように、超小型軽量タイプになっております。玩具ではありませんので、当説明書の取扱の注意をよくお読み頂き、末永く安全にご愛用下さりますよう社員一同、心よりお願い申し上げます。

2011年 株式会社ハイテックマルチプレックスジャパン

目次

ご挨拶・目次-----	2
安全の為の注意・警告-----	3
Li-Poバッテリーの取扱注意-----	4
梱包内容、スペック-----	5
送信機の電源を入れる際の注意-----	6
送信機各部名称（モード1）-----	7
D/R、スティックモード切替-----	8
電源スイッチの入れ方・切り方-----	9
Li-Poバッテリーの充電-----	10
受信機のBind手順-----	11
送信機スティックの役割-----	12
トリム調整-----	13
飛行練習のアドバイス-----	14
SOLO MAXX270分解図-----	15
補修パーツセット-----	16～17
FAQ集-----	18
修理規定について-----	19



安全の為の注意 警告

必ずお読みください。

- ・当製品は玩具ではありません。14歳以下のお子様には使用させないで下さい。
また、お子様の手の届く場所に保管しないで下さい。
- ・飛行に慣れるまでは広い場所での練習をお奨めします。風の影響を受けますので、微風以下の環境で練習して下さい。
- ・ローターやスタビライザーは回転して大変危険です。飛行中は人の顔や手に回転物が接触しないように安全に飛行させて下さい。特に見物人にご注意下さい。
- ・本製品は室内専用モデルです。屋外では風の影響で正常に飛行出来ません。室内でもエアコン等の風の影響を受けます。
- ・飛行前に必ず各ビスの緩みや脱落がないかを点検して下さい。
点検を怠ると最悪の場合、飛行中に部品が飛び危険です。また、激しい着陸や墜落の後は部品にヒビや割れが無いかを確認して下さい。
- ・飛行させないときは常に機体からバッテリーを取り外して下さい。そして保管中はお子様に触れさせないように注意して下さい。
- ・本機はLi-Poバッテリーを使用しています。この電池は取り扱いを誤ると発火等の危険な事態になる恐れがあります。取り扱い注意事項を守り、安全に飛行をお楽しみ下さい。
- ・本機のLi-Poバッテリーは純正充電器、機体での放電のみ可能です。それ以外の機器での充電や放電は絶対にお止め下さい。
- ・本機のLi-Poバッテリーの充電は高温や直射日光をお避け下さい。
- ・本機のLi-Poバッテリーの保管は金属ケースを避け、コネクタ端子がショートしないように保管して下さい。
- ・本機のLi-Poバッテリーを分解や改造しないで下さい。
- ・送信機と機体、及びLi-Poバッテリーは絶対に水に濡らさないで下さい。
- ・本機は他の2.4GHzの無線LAN等のワイヤレス機器と同じ周波数の電波を使用しています。
飛行する際は電波影響のない場所でお楽しみ下さい。
- ・当製品の性格上、お客様がご使用（飛行）になって起きました結果に付きまして、一切の保証は致しかねます事をご了承下さい。

飛行場所の注意（本製品は室内専用です）

本機体は超軽量の為に風の影響を受けやすくなっております。部屋のエアコンや換気扇、窓からの風を遮断すると機体が流されることなく安定したフライトを楽しめます。

初心者の場合は出来るだけ家具の無い広い部屋（8～10畳）での練習をお奨めします。

■ 【重要】Li-Poバッテリー 取り扱い上の注意



Li-Poバッテリーは小型軽量で高性能ですが取扱を誤ると大変危険な電池です。最悪の場合、火災・死亡事故に至る危険性を持つことを十分に理解して慎重にお取り扱い下さい。

その為に当説明書を必ず最後までお読みになり、注意事項を厳守下さるようお願い致します。

1.取扱上の重要事項

- ・ 充電は必ず付属の送信機または専用充電器をご利用下さい。
- ・ 送信機・専用充電器での充電のみご利用頂き、機体以外での放電は行わないで下さい。
- ・ 本製品は模型用充電式リチウムポリマー電池です。他の用途には使用出来ません。
- ・ 変形や臭い、変色等の異常を見付けた場合は使用しないで下さい。
- ・ 電池パックを絶対に分解・改造しないで下さい。

2.充電時の注意

- ・ 充電中は離れずに常に監視をして、異常事態に対処して下さい。
- ・ 充電中は電池と充電器を不燃性の台の上に設置して下さい。
- ・ 充電器は高温になりますので、火傷にご注意下さい。
- ・ 充電が完了したら必ず電池を充電器から取り外して下さい。
- ・ 充電前に電池をよく確認して、少しでも膨らんでいる場合は、ダメージを受けている恐れがありますので、絶対に充電（使用）しないで下さい。
- ・ 充電は電池温度が0～35度の範囲で行って下さい。

3.機体がクラッシュ（墜落）した場合

- ・ 墜落や衝突で電池が強い衝撃を受けた場合、膨張発火の恐れがありますので、発火しても火災にならない場所に暫く放置して様子を見て下さい。
- ・ 強い衝撃を受け、内部構造が変形した電池や、被覆が破れた電池は使用出来ませんので適切に破棄して下さい。

4.電池の保管・保存

- ・ 必ず丈夫なケースに入れて保管し、コネクタの端子間がショートしないように注意して下さい。
- ・ 電池のラミネート被覆は絶対に穴を開けないで下さい。発火の恐れがあります。
- ・ 保存可能温度は-20～60度ですが、性能を保つためには10～50度の範囲内の乾燥した場所に保存して下さい。25度での保存が最も性能劣化を防げます。
- ・ 車内など60度以上の高温状態に放置すると発火する場合があります。
- ・ 長期保存の場合、少なくとも6ヶ月に一度は充電→放電→保存充電を行い、性能を維持して下さい。
- ・ 電池から液が漏れていた場合、直接手を触れないで下さい。
- ・ 満充電で放置しないで下さい。気温が上昇した場合は電圧が上がり、過充電状態になり電池が膨らみ危険です。保存する場合は半分程度の充電量で保存して下さい。

5.電池の運搬・廃棄

- ・ 電池の運搬中は電池表面に力が掛からないようにケースに入れて運搬して下さい。
- ・ 破棄する場合は放電した後に端子にショート防止のテープを貼り廃棄して下さい。
- ・ 絶対に火の中に投じないで下さい。爆発します。
- ・ 破棄は各自治体に問い合わせるか、リサイクル協力店にお願いして下さい。

梱包内容

品名	数量
ヘリコプター本体	1
2.4GHz 送信機（日本国認証品）	1
機体用Li-Poバッテリー（専用品）	1
動作確認用 単3電池	4
プラスドライバー	1



スペック

形式：NE R/C 270A

使用周波数：4ch-2.4GHz帯 FHSS方式

同時飛行可能台数約30台

ローター径：190mm

全長：207mm

重量：30g

機体バッテリー：1セル 3.7V/150mAh Li-Po

飛行可能時間：5～7分（条件により異なります）

充電時間：30～50分程度（条件により異なります）

ジャイロ：MEMS式、超小型軽量タイプ2個搭載

送信機バッテリー：単3×4本（6V）アルカリ電池推奨



重要！！ 送信機の電源を入れる際の注意

送信機の電源を入れるときはスティック位置のキャリブレーションを自動で行いますので、必ずスティックは下記の位置にした状態でスティックに触れないように送信機の電源を入れて下さい。

- 1.スロットルスティックは最スロー（いっぱいまで下げる）
- 2.エルロン・ラダー・エレベータスティックは中立位置

スイッチON



飛行OK

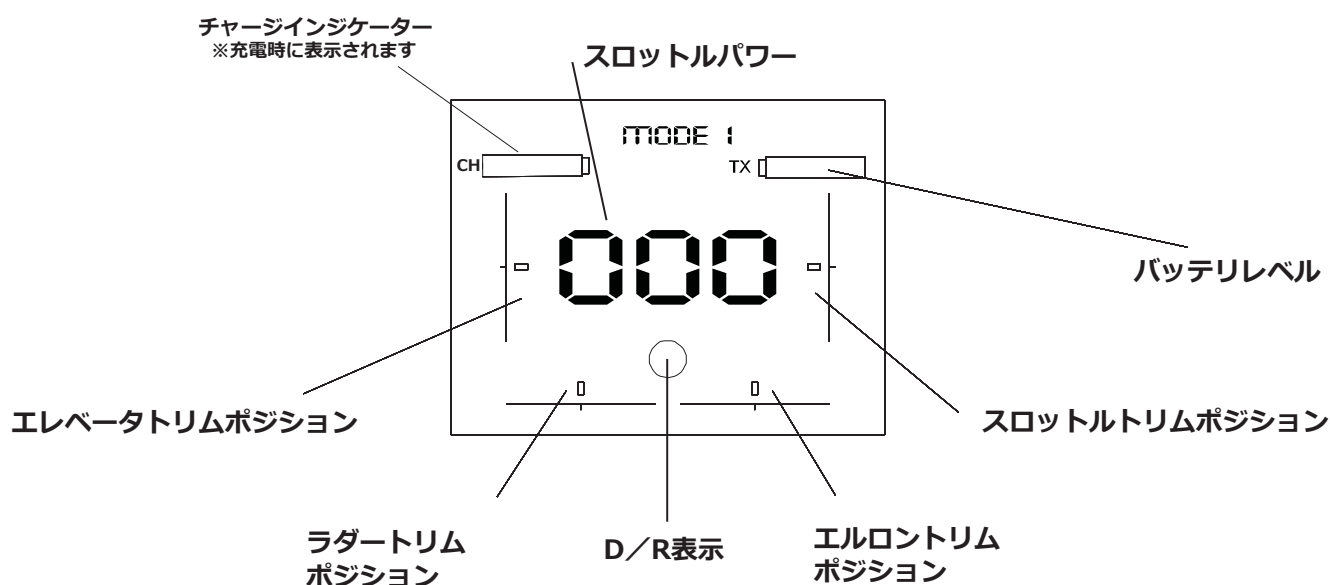
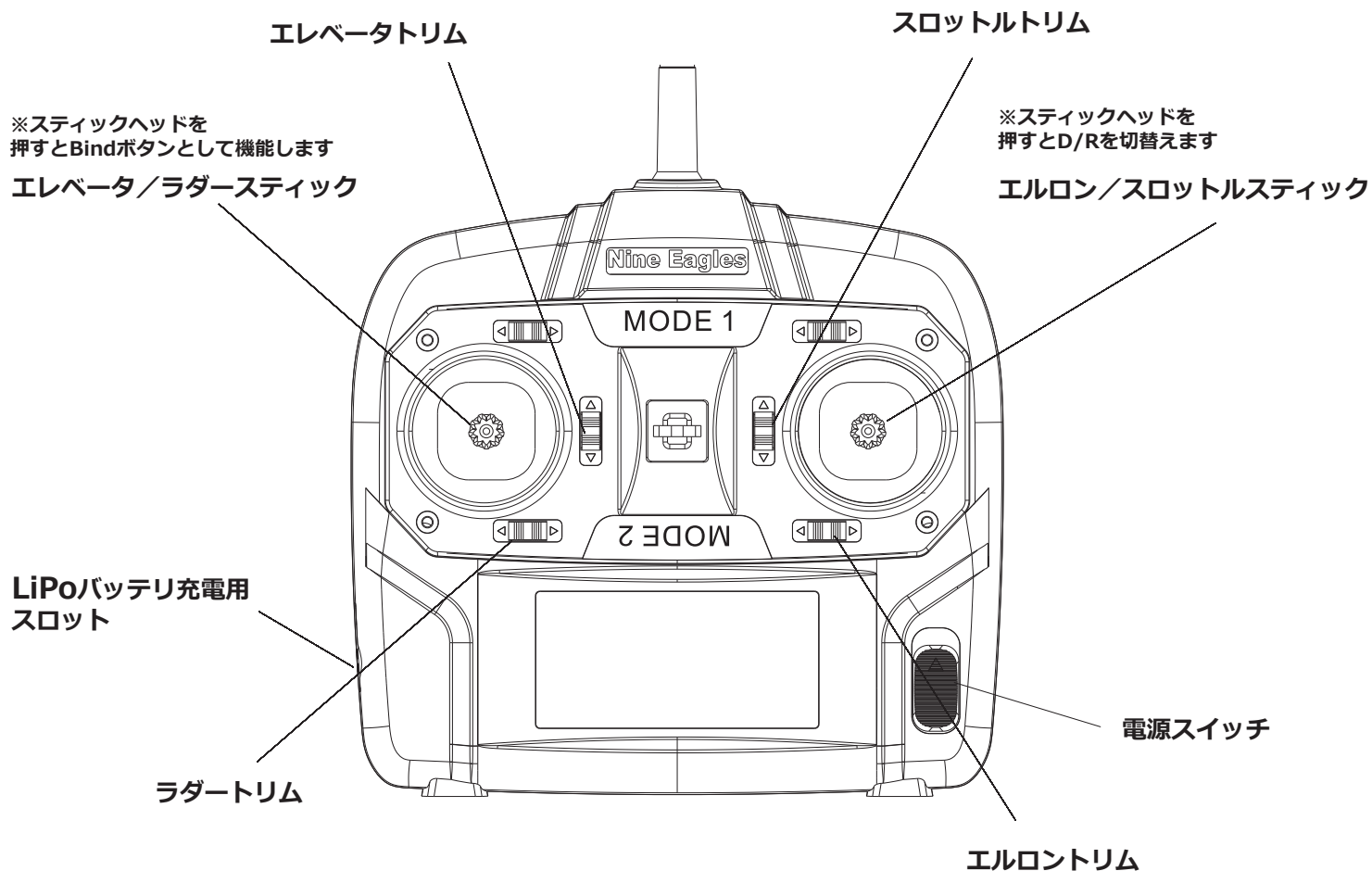


※スティックに触れた状態で電源を入れると、各舵のニュートラル位置が大きくズレてしまい、機体は転がって制御不能になります。

送信機各部名称（モード1）

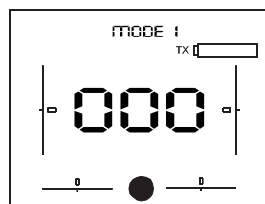
出荷時は日本仕様の【モード1】の設定となっております。

- ・ 右スティック：エルロン・スロットル操作
- ・ 左スティック：エレベータ・ラダー操作

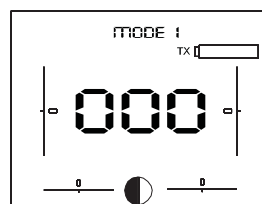


◆ D/R（デュアルレート）の切り替え

D/Rの切り替えで機体の反応特性（エルロン・エレベータ）の切替が出来ます。
エレベータスティックヘッドを押し込むたびにブザーが鳴り、D/Rが切り替わります。
現在の位置はLCDの表示マークで確認出来ます。



D/Rワイド



D/Rナロー

ヘリコプターの操縦に自信の無い方はD/Rナロー側で操縦して下さい。
ワイドに切替えますと機体が敏感に反応します。

◆ スティックモードの切り替え方法

モードを切替えることによりスティック配置を変更出来ます。出荷時は日本ユーザー向けの【モード1】になっております。下記の手順操作で欧米のユーザーが使用しているモード2を手軽に体験出来ます。

※ 送信機の電源を必ずOFFにして下さい



電源を切った状態でスティックユニット左右上下にあるネジを外し、スティックユニットを図のように回します。「MODE2」と書いてあるほうを上にする事でMODE2に変更することが出来ます。

◆ 電源スイッチの入れ方・切り方

ご注意：下記の順番を必ず守ってください。手順を間違えた場合、機体の誤作動を引き起こす場合があります。

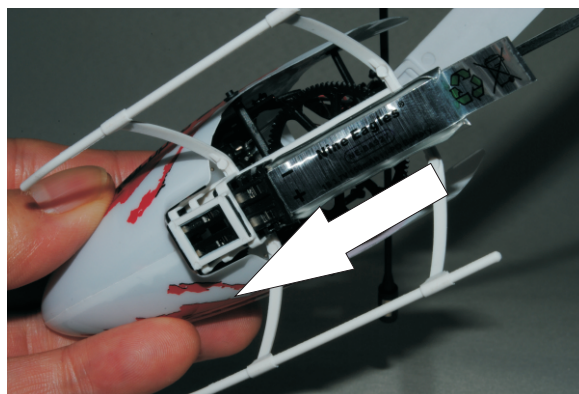
◆ 電源を入れるとき

ご注意：送信機をONにする際は、スロットルスティックを最スロー位置にしてください。それ以外はニュートラル位置になるようにしてください。スロットルスティックが少しでも上がっていたり、スロットルトリムが上がりすぎていると、モーターが回らないよう安全機構が働きます。この場合は、一旦スロットルを再スローにするとモーターが回ります。

1.送信機の電源を先に入れます



2.機体のバッテリーを挿入します



◆ 電源を切るとき

上記「電源を入れるとき」とは逆の手順で電源を切ります。

- 1.機体のバッテリーを外します
- 2.送信機の電源を切ります
- 3.各部ネジに緩みがないか、破損していないかを確認してください

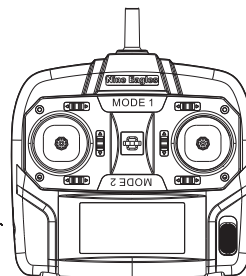
機体用のLi-Poバッテリーの充電方法

1.送信機横のカバーを開け、内部端子に合わせLiPoバッテリーを差し込みます。

※端子を裏にして端子側から差し込みます

2.送信機電源を入れることで充電が開始されます。この際、液晶画面左上にチャージインジケータが表示されます。

LiPoバッテリー充電用
スロット



3.充電中は定期的に「ピッ・・・ピッ・・・」とアラームでお知らせします

4.充電が完了すると「ピピピッ・・・ピピピッ・・・」とアラームでお知らせしますので、速やかにバッテリーを外し、送信機の電源を切ります

※充電時間は送信機のバッテリー（乾電池）の残量により変化します

※AC専用充電器セット（NE4210902）も販売していますので是非ご利用ください



重要な注意事項

Li-Poバッテリーは取り扱いを誤ると発火する恐れのあるバッテリーです。
下記の指示を必ずお守り下さい。

- ・ 純正充電器または送信機以外では絶対に充電しないで下さい
- ・ 他の種類のLi-Poバッテリーは充電しないで下さい
- ・ 気温35度以上では充電しないで下さい
- ・ Li-Poバッテリーのラミネートカバーが膨らんでいるバッテリーや甘い臭いがするバッテリーは充電しないで下さい
- ・ 安全の為に充電中は部屋にいて異常事態に対処して下さい
- ・ 電池を保管する場合、電池寿命の為に残量がゼロの状態や満充電状態を避けて下さい
- ・ 過放電（バッテリーを完全放電すること）しますと、ご使用頂けなくなる場合があります。十分ご注意ください。

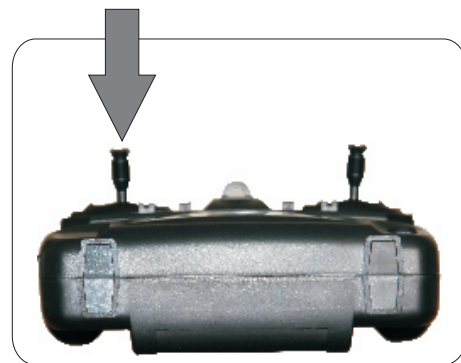
受信機のBind設定手順

送信機は1台1台独自のIDを持っています。この送信機のIDを受信機に登録する作業を「Bind（バインド）」と呼びます。工場出荷時にはこの作業は済ませてあります。手持ちの送信機で他の機体を操縦する場合や他の送信機に機体を合わせる場合、そして受信機ユニットの修理などを行った際にこの作業が必要となります。

※稀にバインドが切れる場合もあり、その際もバインド設定が必要になります

※下記説明はMODE1での説明となりますが
MODE2でも左スティックを押し込みます。

- 1.右図のようにエレベータスティックを押し込みながら送信機の電源を入れます。電源を入れたらスティックは離します。するとブザー（ピッピッ・・・）が鳴り、LCDのバーが順番に点滅します
- 2.機体にLi-Poバッテリーを挿入し、コネクタを繋ぎます
- 3.Bindが完了すると送信機のLCD表示は通常に戻ります
- 4.送信機のスロットルスティックを一旦最スローしてから上げて機体のモータが回ることを確認します
- 5.機体と送信機の電源を一旦OFFにして下さい



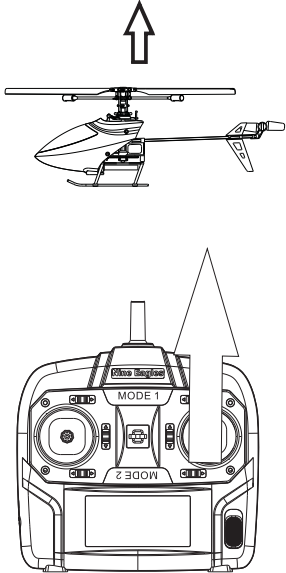
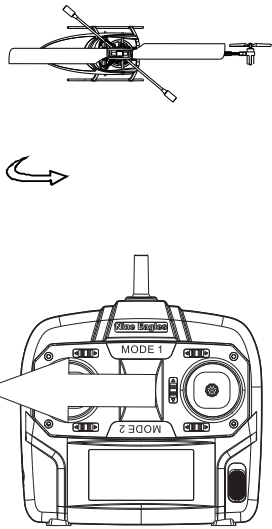
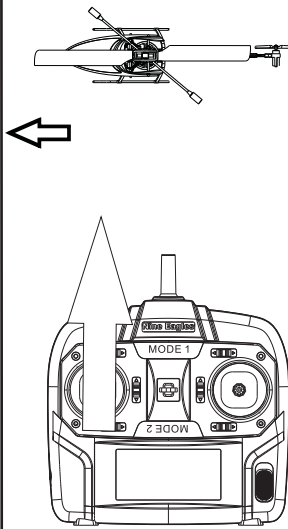
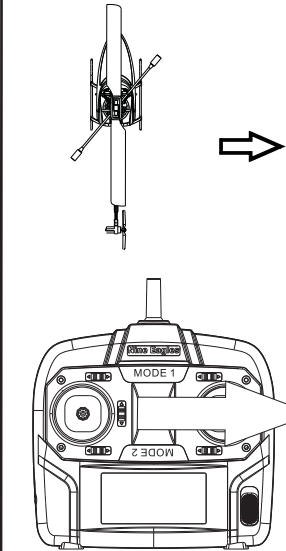
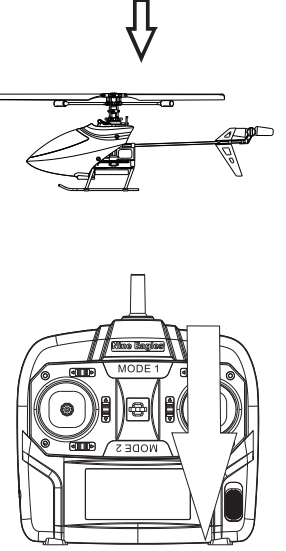
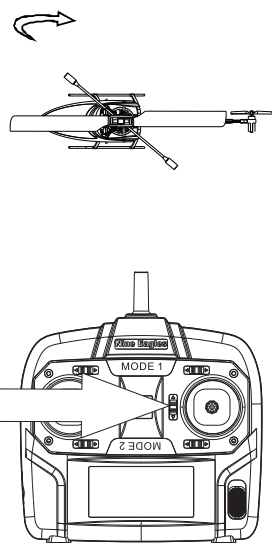
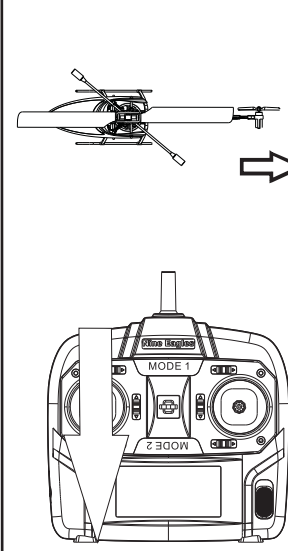
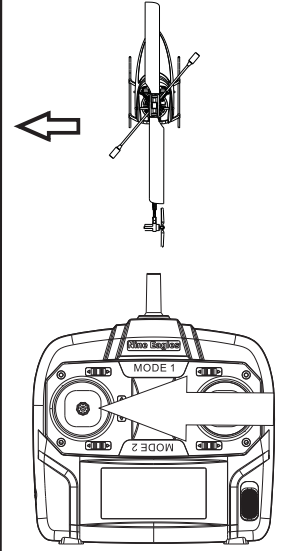
ご注意： Bind作業を行う際には他の2.4GHz送信機や機体の電源をOFFにします。また、無線LANやBluetooth等の機器からも離して作業して下さい

デュアルレート設定

この製品に付属の送信機では操作範囲を70%(ナローモード)、100%(ワイドモード)に切替可能です。標準ではナローモードとなっています。電源が入っている状態でMODE1の場合は右スティックを押し込むことで切り替えが可能です。MODE2でも右スティックを押し込むことで切り替えが可能です。ワイドモードは運動性は高まりますが、操作が難しくなります。

送信機スティックの役割

送信機のスティック操作で機体は下図のように操縦出来ます
(MODE 1)

スロットル	ラダー	エレベータ	エルロン
上昇 	左回転 	前進 	右移動 
スロットル	ラダー	エレベータ	エルロン
下降 	右回転 	後進 	左移動 

トリム調整

※下記説明はMODE1での説明となります。

送信機のスティック根元にはトリムレバーボタンがあります。

トリムとは、スティックから手を離れたときの機体の各舵の中立位置（ニュートラル位置）を微調整する物です。

これをしっかり調整しないと機体は安定して空中に静止しません。重要な役割ですので飛行前に納得いくまで調整して下さい。調整出来ていないままに飛行させると機体は傾いて墜落してしまう危険性があります。

最初は機体のスキッド部を軽く持ち、ホバーリング出来る程度までスロットルを上げ、機体がどちらかに傾く（回転）するか慎重に見極めます。クセのある舵のトリムを、クセがとれて傾かなくなる位置まで調整します。

※回転中のローターに触れないようにご注意ください。

■エレベータトリム



機体が前後に傾く場合は傾いた方向とは逆方向にトリムレバーを押して打ち消すように調整します。位置はLCDに表示されます。

■エルロントリム



機体が左右に傾く場合は傾いた方向とは逆方向にトリムレバーを押して打ち消すように調整します。位置はLCDに表示されます。

■スロットルトリム



LCDの表示がセンターであれば特に調整の必要はありません。スティックを一番下にしたときにモータが停止すればOKです。位置はLCDに表示されます。

※スロットルトリムは中立以上に上げないでご利用ください。上げすぎますと安全機構が働き、モーターが回らない仕組みとなっています

■ラダートリム



機体が左右に回転する場合は回転する方向とは逆方向にトリムレバーを押して打ち消すように調整します。位置はLCDに表示されます。

※機体の回転がトリムで停止出来ない場合はモータの寿命・劣化が考えられます

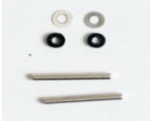
初心者の飛行練習アドバイス

- トリム調整は立って手のひらに載せ、浮上する程度にスロットルを上げ、機体が大体止まるようにトリムを調整するのが良いでしょう。
※トリム調整は無風状態で行って下さい
- シングルロータ式なので、テールローターの作用を打ち消すようにホバリング時は機体が少し右に（エルロン軸）傾いて静止するのが正常です。
- 床からの浮上は地面効果の為にエルロンを右に素早く修正しないと機体は左に移動してしまいます。（ミキシング機構により、ある程度自動修正されます）
- この機体はシングルロータ式の為に、スティック操作による各舵の反応は、左右前後それぞれ異なり、クセがあります。また、各舵を独立して操作しても他の軸の舵に影響やクセが出ます。
このクセを飲み込み無意識にスティックで修正出来ることが上達への目標になります。そして操縦に慣れると二重反転ヘリより運動性の良い自在な飛行が可能になります。本格的なRCヘリへ向けた練習としてはフライトシミュレータより実践的です。
- 飛行はエアコンや開いた窓・換気扇の僅かな風にも影響を受けます。
- 落下や他に接触した機体はそのまま飛行させないで、必ず各部を点検して下さい。
各ロッドの抜け・スワッシュプレートのズレやベアリングの浮き・テールモータのズレ・キャビンのズレ・スキッドの緩み、そしてバッテリーが後方にズレますと重心が狂います。

重要！！ 飛行時のご注意

- 飛行中にパワー不足を感じた時はバッテリーの残量が少なくなっています。速やかに着陸して充電して下さい。過放電するとバッテリーが使用できなくなります。（当製品にはオートカット機構が付いておりませんので、十分ご注意ください）
- 墜落しそうな時や物に接触しそうな時は、出来るだけ素早くスロットルスティックを下げてモータパワーを絞って下さい。モータが回っている状態で接触や墜落をすると、機体の破損が大きくなります。また、モータにも負担が掛かり、寿命が短くなります。
- 機体を保管するときはロータやスタビライザーに何も触れないように保管して下さい。ロータに何か触れたままだと変形してトラッキングがズレてしまいます。

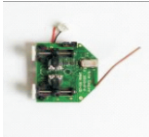
補修パーツセット

パーツNo.	写真	品番	名称	税込価格
38		NE400012	キャビンセット(Red)(SoloMaxx270)	¥1,050
38		NE400013	キャビンセット(Yellow)(SoloMaxx270)	¥1,050
11		NE402270003A	ロータープレートセット (Black) (SoloMaxx270)	¥630
12,13,31		NE402270005A	スタビライザーバーセット(SoloMaxx270)	¥945
10,14,15		NE402270006A	ローターヘッド (SoloMaxx270)	¥630
07,08,09		NE402270007A	スプリントールシャフトセット(SoloMaxx270)	¥420
22		NE402270011A	メインシャフトセット(SoloMaxx270)	¥735
16,17,18		NE402270010A	スワッシュプレート(SoloMaxx270)	¥840
23		NE402270012A	メインフレーム(SoloMaxx270)	¥735
01,02,32,33		NE402270009A	ホーンリンクージョイントセット(SoloMaxx270)	¥630
03,04,05		NE402270008A	ロッカーアームセット(SoloMaxx270)	¥420
24,40		NE402270014A	メインギアセット(SoloMaxx270)	¥420

※各種パーツは改善のため、予告なく仕様変更および形状変更する場合がありますので
ご了承下さい。最新情報は弊社Webサイトにてご確認頂けます。

<http://www.hitecrd.co.jp/>

補修パーツセット

パーツNo.	写真	品番	名称	税込価格
41,42,43		NE402270013A	ランディングスキッドセット(SoloMaxx270)	¥945
26,27,29,30		NE402270015A	テールモーターロッドセット(White)(SoloMaxx270)	¥1,365
26,27,29,30		NE402270016A	テールモーターロッドセット(Black)(SoloMaxx270)	¥1,365
28		NE402270017A	テールフィン(White)(SoloMaxx270)	¥420
28		NE402270018A	テールフィン(Black)(SoloMaxx270)	¥420
34,35		NE402270019A	メインモーター(SoloMaxx270)	¥1,260
36		NE402270020A	受信機セット(SoloMaxx270)	¥5,250
03,06,15,19,24		NE402270021A	スクリューセット(SoloMaxx270)	¥315
39		NE4260020	キャビン用オーリング8個セット	¥300
21,		NE402270022A	ベアリングセット(SoloMaxx270)	¥735
25		NE411927001A	LiPoバッテリー(Hughes,SoloMaxx270)	¥1,380
19,20		NE400051	カラーセット(SoloMaxx270)	¥210

FAQ集

Q.機体の電源が全く入らない。（機体LEDも点灯・点滅しない）

A.バッテリーの向きは正しいか確認してください。

A.充電は正しく完了していますか？ バッテリーの予備があれば、違うバッテリーでお試し下さい。

違うバッテリーでも動作しない場合は、機体側配線が断線している可能性があります。キャビンを外して配線が外れていないかご確認ください。

Q. 機体の電源は入る（LEDが点滅）が、動作しない。

A.バインドが切れている可能性があります。当説明書「バインド設定」項目をご確認頂き、バインド設定をお試し下さい。

Q.墜落した後、機体が暴れるようになったが、どこが悪いのかわからない。

A.メインローターに何か接触すると、スピンドルシャフトが曲がり、正しくフライト出来なくなる場合があります。

A.基板部サーボ（エルロン・エレベータ）が衝撃等によって破損してしまうと、送信機スティックに反応しなくなる場合があります。この場合、基板（受信機）の交換が必要となります。

Q.モーターの出力が落ちてきた・上昇しなくなった。

A.バッテリーを代わる代わる連続でフライトさせますと、モーターの寿命を極端に縮めてしまいます。1フライトごとにモーターを自然冷却させてください。

A.メインモーターやテールモーターの寿命は、お客様のフライト環境によって異なります。バッテリー容量に問題がなく、モーターの回転が弱くなった場合、モーターを交換する必要があります。

Q.機体が回転してしまう。

A.テールブレードが外れ、付け直した際に逆向きに取り付けますと、機体がぐるぐると回転してしまいます。この場合は、テールブレードの向きを確認してください。

- 1.当社が保証内としたご使用状態で不具合が生じた場合、修理または部品の交換を致します。
保証外と判断した場合には修理を承れない場合もございます。その判断につきましては恐れ入りますが、当社にご一任ください。
- 2.経時的変化による消耗や摩耗、お取扱上の不注意・事故・改造による不具合は、保証の対象外とみなし、有償と致します。
- 3.当社商品の適合商品以外のバッテリー、送信機等をご利用になりますと、商品本来の機能を損なう恐れがございます。そのような状況での不具合に関しての修理は有償と致します。
- 4.生産が終了した商品につきましては修理を承れない場合があります。
- 5.修理作業につきましてはご指摘の箇所のみと致します。修理をご用命の際は、必ず修理箇所を別紙の「修理依頼票」または、Webサイトにて詳細にご記入頂けますようお願い致します。
- 6.修理不能および修理代金が新品保証価格を上回る場合は新品保証交換を適用致します。
(金額は機種により変わります)
- 7.弊社製品は予告なく仕様変更をする場合がございます。その場合におきましても、返品・交換は致しかねますので、予めご了承下さい。

初期不良について

- 1.初期動作不良が認められた場合に適用致します。ご購入より2週間以内に動作確認頂き、サーボやモーターの動作不具合・キャビン・パーツ等の欠損がある場合に無償修理・交換させて頂きます。ご購入時の納品書・レシートのコピーを弊社にて確認できない場合は初期不良を適用できない場合があります。
- 2.フライト後に起きた不具合につきましては有償修理とさせて頂きます。但し、当社判断により無償対応とさせて頂ける場合もございます。その判断は当社にご一任下さい。
- 3.いかなる場合に置きましても返品はお受けいたしかねます。

新品交換保証について

- 1.新品交換保証お申し込みの際は「機体・送信機・バッテリー・元箱・日本語取扱説明書」が必要となります。機体のみ、または送信機のみでの交換はできません。
- 2.当社在庫が完了となった時点で「新品交換保証」は受付終了となります。
- 3.機種の変更や色の変更はお受けいたしかねます。
- 4.交換に際し、回数の制限はありません。
- 5.並行輸入品・パーツは対象となりませんのでご注意ください。

NOTHING FLIES LIKE NINE EAGLES
Please enjoy your Nine Eagles™ flying experience!!!



◎ 輸入販売元

お問い合わせ・修理品送付先

〒133-0057 東京都江戸川区西小岩1-30-10 1F

株式会社ハイテック マルチプレックス ジャパン

Nine Eagles専用ダイヤル : 03-6458-0191

FAX : 03-6458-0231

受付時間 : 月～金曜日 (祝日・夏期休暇・年末年始を除く)

10:30～12:30, 13:30～16:30

Web Site : www.hitecrd.co.jp

Shanghai Nine Eagles Electronic Technology Co., Ltd.
Copyright © 2011 Hitec Multiplex Japan, Inc. All Rights Reserved.